

ジャケットリアクタの有効活用

より良い制御とデータ記録そしてレポート作成



インターフェイスの標準化

全てのジャケットリアクタの制御をタッチスクリーンで行えます。インターフェイスを標準化し小容量から大容量までの様々なリアクタサイズでヒューマンエラーとトレーニングコストを削減します。



全てのログを記録

リアクタから得られるすべてのプロセスデータだけでなく、in situセンサーデータ (pH, ParticleTrack™, ReactIR™, EasySampler™など) も統合し記録します。もちろん全てのデータは自動的に記録され重要なデータを二度と失う事は無いでしょう。



完全無人運転

タッチスクリーン上やiCソフトウェア上で事前に設定したタスクシーケンスや条件に応じた設定を無人で実行します。タッチスクリーンとiCソフトウェアは双方向に通信しておりどちらからでも制御可能で1日24時間を有効に活用できます。



強力なレポート機能

プロセスで得られたデータと測定で得られる様々な情報、さらに重要な反応の変化をイベントとして統合し記録。プロセス検討と最適化に必要な時間の削減とより良い判断の手助けとなります。



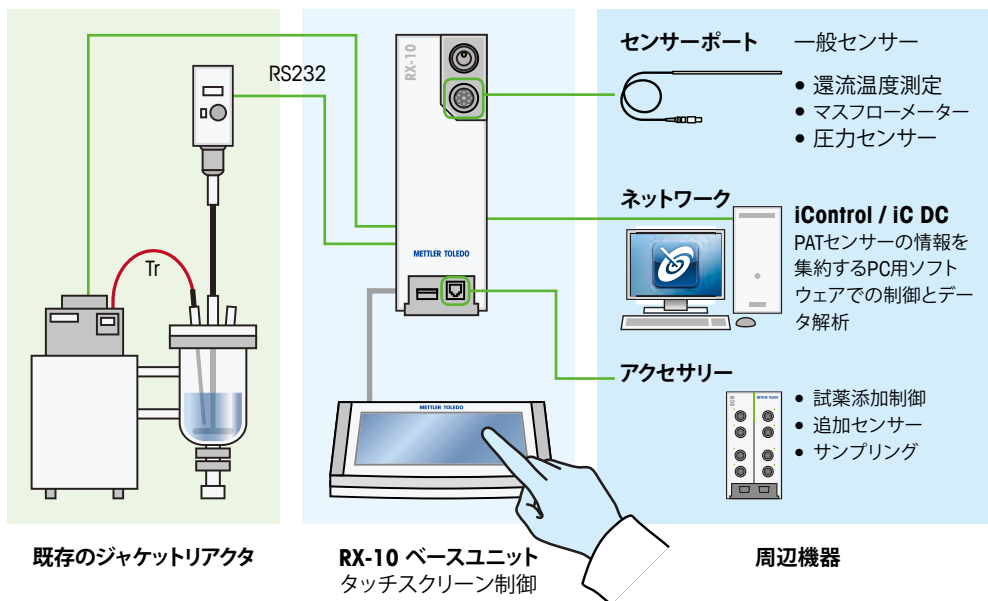
RX-10™ リアクタ制御とデータ測定

RX-10は様々なジャケットリアクタにメトラー・トledoの自動合成機で使用されているタッチスクリーンを簡単に接続でき、データ測定と制御を可能にします。ジャケットリアクタに接続された循環恒温槽の温度設定をプログラム制御する事や、試薬添加操作、そしてサンプリング操作を自動化できるだけで無く、より多くのデータを得る為の様々なセンサーデータも統合し昼夜を問わず実行可能にします。また、PCを用いたより高度な制御やデータ解析、レポート作成への拡張も可能です。研究者は反応とデータ収集の自動化により、詳細情報に則ったより良い決断をより速く行う事ができます。

ジャケットリアクタの有効活用 より良い制御とデータ記録そしてレポート作成

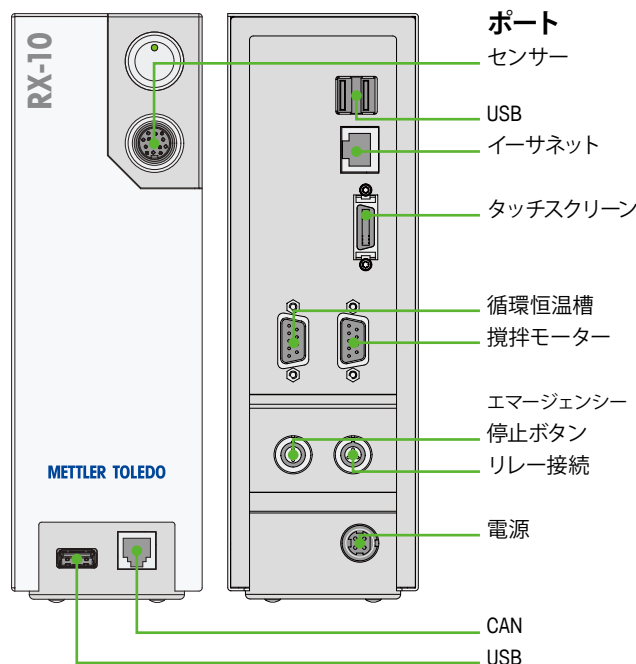
シンプルでフレキシブル

循環恒温槽や攪拌モーター、試薬添加ポンプやセンサー類を接続するだけで簡単に制御できます。研究者は反応制御や反応最適化を新しいレベルで自動化し容易に実行できます。一般的なラボ用センサーに対応し、例えばPt100温度計で有ればスマートコネクトセンサーポートに取り付けるだけで使用でき、要する時間は数分だけです。



仕様

循環恒温槽	Huber社製及びJulabo社製 – 全てのRS232ポート搭載機種
温度範囲	Huber社製及びJulabo社製循環恒温槽の全温度範囲サポート(-120℃~425℃)
攪拌モーター	IKA社製、Heidolph社製、J-KEM社製 -全てのRS232ポート搭載機種
容量範囲/リアクタ	リアクタの種類及び容量に指定なし
スマートコネクトセンサーポート(プラグアンドプレイ)	Pt100 4線式 電圧 -10~+10V (入力) 電流 0~20mA (入力)
接続とデータ通信	イーサネット: PCとの接続(iControl/ iC Data Center) CAN: プラグアンドプレイアクセサリ用インターフェイス USB: USBメモリーへのデータ転送
表示言語	日本語、English, German, French, Spanish, Chinese
装置安全性	緊急停止ボタン エマージェンシープログラム実行 緊急用リレー接続 アラームやランプへの接続
寸法 WxDxH	70 mm x 152 mm x 215 mm
重さ	2.88Kg タッチスクリーンを含む



メトラー・トledo株式会社 オートケム事業部

〒110-0008 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル8F
TEL: 03-5815-5515
FAX: 03-5815-5521

製品の使用は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください
© 09/2016 Mettler-Toledo AutoChem, Inc
Printed in JAPAN 96130310

www.mt.com/RX-10

For more information